

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	平成医療学園専門学校
設置者名	学校法人平成医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	柔道整復師科（昼間部）	夜・通信	10 単位 (300 時間数)	10 単位 (240 時間数)	
	鍼灸師科（昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部）	夜・通信	15 単位 (300 時間数)	10 単位 (240 時間数)	
文化・教養専門課程	日本語学科（日本語1年コース）	夜・通信	0 単位	4 単位	※
	日本語学科（医療福祉系1年コース）	夜・通信	0 単位	4 単位	※
	日本語学科（進学1.5年コース）	夜・通信	0 単位 (0 時間数)	5 単位 (120 時間数)	※
	日本語学科（進学2年コース）	夜・通信	0 単位 (0 時間数)	7 単位 (160 時間数)	※
	応用日本語学科（1年コース）	夜・通信	0 単位	4 単位	※
	応用日本語学科（2年コース）	夜・通信	0 単位 (0 時間数)	7 単位 (160 時間数)	※
（備考）（）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ「<https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/publication/>」に掲載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 日本語学科、応用日本語学科

(困難である理由)

日本語学科及び応用日本語学科については、法務省告示基準に基づく教員要件のもと、日本語習得レベルに見合う教員を配置しており、所謂産業界に携わっている、或いは産業界の企業等での実務経験者を教員として配置していない。本学科は日本語を母語としない学習者に日本語を教える語学教育が目的であることから、日本語教員としての指導力と経験値を採用の基準として重視している。

以上のことから実務経験のある教員の配置が難しく、要件を満たすことが出来ない。
--

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	平成医療学園専門学校
設置者名	学校法人平成医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開している。
<https://www.heisei-iryo.ac.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	有限会社エビススポーツ マッサージ副社長 (1992. 6. 30～ 2008. 5. 31) 株式会社エビススポーツ マッサージ社長 (2008. 6. 1～)	平成 13 年 4 月 1 日～令 和 11 年度の 定時評議員 会終結の時	企画・調整
非常勤	オリエントメディカル サービス株式会社取締役 (2011. 8. 31～) 学校法人福寿会理事 (2020. 4. 1 ～ 2023. 3. 31)	令和 2 年 4 月 1 日～令 和 11 年度の 定時評議員 会終結の時	産学連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	平成医療学園専門学校
設置者名	学校法人平成医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【作成に係る取組み】 授業計画書については、全学科共通の様式を使用しており、以下の内容について毎年度学科内で検討を行い、作成している。 ・授業内容 ・到達目標 ・授業方法 ・授業科目の設定 ・授業スケジュール ・担当教員の選定 ・成績評価の方法・基準 ・その他必要事項	
【公表に係る取組み】 授業計画書を毎年度 HP 上に公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/publication/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学生面談を定期的実施し、学修意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学修到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。 尚、評価は、優 (100～80 点)、良 (79～70 点)、可 (69～60 点)、不可 (59 点以下) の 4 段階で表す。	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【医療専門課程】 授業科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。(100 点満点で点数化) これによって算出した平均点を客観的な指標とする。 【文化・教養専門課程】 授業科目の成績を 4 段階 (優・良・可・不可) で評価し、成績評価係数を算出する。 これによって算出した成績評価係数を客観的な指標とする。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/publication/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則で定めている卒業要件となる全ての単位を修得（または所定の授業時間数を履修）し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/publication/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	平成医療学園専門学校
設置者名	学校法人平成医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.heisei-iryo.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.heisei-iryo.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://www.heisei-iryo.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://www.heisei-iryo.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.heisei-iryo.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	柔道整復師科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	120 単位 (2805 時間)	80 単位 (1470 時間)	18 単位 (525 時間)	4 単位 (180 時間)		18 単位 (630 時間)
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		101 人	0 人	7 人	18 人	25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 様々な種類の自由参加型ゼミを開講している。 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	4 人 (11.1%)	30 人 (83.3%)	2 人 (5.6%)
（主な就職、業界等） 病院、接骨院・整骨院等			
（就職指導内容） 面談の実施や、就職フェアへの誘導などを実施。 また関連団体を通して、就職先紹介も行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師国家試験 33 名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114 人	8 人	7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学業成績が振るわない学生に対する支援策として、担任教員による個別面談に加えて、補習や個別指導等も行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	鍼灸師科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	118 単位 (2665 時間)	91 単位 (1885 時間)	8 単位 (150 時間)	4 単位 (180 時間)	0 単位	15 単位 (450 時間)
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
171 人		94 人	0 人	7 人	20 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的の実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 様々な種類の自由参加型ゼミを開講している。 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38 人 (100%)	0 人 (0%)	33 人 (86.8%)	5 人 (13.2%)
（主な就職、業界等） 病院、接骨院・整骨院等			
（就職指導内容） 面談の実施や、就職フェアへの誘導などを実施。 また関連団体を通して、就職先紹介も行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師国家試験 38 名合格、きゅう師国家試験 37 名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	3 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業成績が振るわない学生に対する支援策として、担任教員による個別面談に加えて、補習や個別指導等も行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	日本語学科 1年コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	50単位					
			36単位	13単位	1単位	単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		1人	1人	7人	16人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	1人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
—			
(就職指導内容)			
—			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
—			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) —		
(中退防止・中退者支援のための取組) —		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	日本語学科 医療福祉系 1 年コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	50 単位					
			36 単位	13 単位	1 単位	単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		1 人	1 人	7 人	16 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） —			
（就職指導内容） —			
（主な学修成果（資格・検定等）） JLPT N2 1 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） —		
（中退防止・中退者支援のための取組） —		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	日本語学科 1.5 年コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1.5 年	昼	75 単位 (1275 時間)	54 単位 (918 時間)	19 単位 (323 時間)	2 単位 (34 時間)	単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		67 人	67 人	7 人	16 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。

成績評価の基準・方法
(概要) 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
(概要) 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
57 人 (100%)	44 人 (77.2%)	3 人 (5.3%)	10 人 (17.5%)
(主な就職、業界等) 技・人・国、介護、飲食			
(就職指導内容) 就職に関する個人面談や、就職フェアへの誘導などを実施。 さらに、履歴書の記入方法に関する指導や就職面接における指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) N1 2 名、N2 8 名、N3 17 名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	1 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 問題行動による懲戒処分（退学）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻や欠席の数が著しく増加している学生に対する支援策として、担任教員等による個人面談を行っている。この面談を通して、学生自身が抱える不安要素を払しょくするとともに学習意欲を確認し、その回復のための学生指導を徹底している。 また、学習面或いは生活面のいずれかに問題がみられる場合には、学生の家族と密に連携し、その解決に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	日本語学科 進学2年コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	100 単位 (1700 時間)	72 単位 (1224 時間)	26 単位 (442 時間)	2 単位 (34 時間)		
						単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		154 人	154 人	7 人	16 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
71人 (100%)	62人 (87.4%)	4人 (5.6%)	5人 (7%)
（主な就職、業界等） 製造、介護、飲食			
（就職指導内容） 就職に関する個人面談や、就職フェアへの誘導などを実施。 さらに、履歴書の記入方法に関する指導や就職面接における指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） N1 1名、N2 17名、N3 34名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140 人	1 人	0.7%
(中途退学の主な理由) 病気等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻や欠席の数が著しく増加している学生に対する支援策として、担任教員等による個人面談を行っている。この面談を通して、学生自身が抱える不安要素を払しょくするとともに学習意欲を確認し、その回復のための学生指導を徹底している。 また、学習面或いは生活面のいずれかに問題がみられる場合には、学生の家族と密に連携し、その解決に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	応用日本語学科 1 年コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	57 単位	32 単位	23 単位	2 単位	単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		35 人	35 人	2 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	17 人 (73.9%)	2 人 (8.7%)	4 人 (17.4%)
（主な就職、業界等） 食品加工、飲食業界			
（就職指導内容） 就職に関する個人面談や、就職フェアへの誘導などを実施。 さらに、履歴書の記入方法に関する指導や就職面接における指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） N2 9 名、N3 7 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	2 人	6.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 遅刻や欠席の数が著しく増加している学生に対する支援策として、担任教員等による個人面談を行っている。この面談を通して、学生自身が抱える不安要素を払しょくするとともに学習意欲を確認し、その回復のための学生指導を徹底している。 また、学習面或いは生活面のいずれかに問題がみられる場合には、学生の家族と密に連携し、その解決に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	応用日本語学科 2年コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	114 単位 (1708 時間)	73 単位 (1115 時間)	39 単位 (561 時間)	2 単位 (32 時間)		
						単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		38 人	38 人	2 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科共通の様式を使用して、シラバスを作成している。 シラバスには授業科目の概要・目的等を記載し、毎年度ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生面談を定期的実施し、学習意欲の把握に努めている。 また、定期試験やレポートなどにより学習到達度を確認し、学則及びシラバスで定めている評価方法に基づき、成績を評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則で定めている所定の授業時間数を履修し、且つ定められた学納金等を完納した者に対し、卒業の認定を行う。
学修支援等
（概要） 定期的な面談や、補習を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	16人 (84.2%)	2人 (10.5%)	1人 (5.3%)
（主な就職、業界等） 介護業界、技・人・国			
（就職指導内容） 就職に関する個人面談や、就職フェアへの誘導などを実施。 さらに、履歴書の記入方法に関する指導や就職面接における指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） N2 4名、N3 8名			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	3 人	8.6%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、進路変更、病気等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻や欠席の数が著しく増加している学生に対する支援策として、担任教員等による個人面談を行っている。この面談を通して、学生自身が抱える不安要素を払しょくするとともに学習意欲を確認し、その回復のための学生指導を徹底している。 また、学習面或いは生活面のいずれかに問題がみられる場合には、学生の家族と密に連携し、その解決に努めている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復師科	250,000 円	870,000 円	440,000 円	「その他」に含まれるのは、施設管理費と教材費。
鍼灸師科				
日本語学科 (1 年コース)	100,000 円	620,000 円		
日本語学科 (医療福祉系 1 年コース)	100,000 円	620,000 円		
日本語学科 (進学 1.5 年コース)	100,000 円	620,000 円		1 年次の授業料は 310,000 円。
日本語学科 (進学 2 年コース)	100,000 円	620,000 円		
応用日本語学科 (1 年コース)	100,000 円	670,000 円		
応用日本語学科 (2 年コース)	100,000 円	670,000 円		
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/publication/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
業界関係団体に勤務している方や卒業生などを評価委員として複数名招聘し、自己評価の客観性ならびに透明性を担保するため、教育課程などの項目について様々な角度から評価をしていただく。 その評価結果を参考とし、次年度の教育および学校運営水準の更なる向上を目指すことを基本方針とする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
明治国際医療大学	2021. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
おかげ堂うすき鍼灸整骨院	2021. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	卒業生・企業等委員
なみかわ はり・きゅう院	2021. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/publication/		
(備考)		
第三者評価は未実施であり、学校関係者評価の公表をもって代える。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/
--